政治家になると決意した細野は、選挙区として静岡県・三島を選んだ

三島駅
MISHIMA STATION

細野豪志（28才）

妻と生後4ヶ月の娘

ここに運命を託すぞ…！

ガッ

しかし状況は厳しかった…

ライバルは実績があり地元に根付いた大物政治家

選挙に必要な「地盤（支援者）・看板（知名度）・カバン（金）」の全てが無い

日本の政治を変えなければなりません！

選挙で勝てる見込みはゼロに近かった

誰？

民主党

一方の細野は全くの「よそ者」…

保守二大政党になったと思ったのに民主党員は三人しかいない…

孤独な戦いだ…

カー

カー

カー

トボ

トボ…

体力と時間だけはあった細野はボランティアの大学生と無謀にも、

歩いて伊豆半島を一周する行動にでた

ビュオオオオ

ずぶ…

民宿

掃除をして帰りますから、

素泊まり2000円で泊めてもらえませんか？

ジー…

お腹が減っただろうから、お刺身とご飯を出してあげるよ

ニコッ

温泉にも入りな

ありがとうございます！

孫の将来が心配で…

歩いて地元を回ることで、

その地で生活する人々の話をじっくり聞くことができた

ご恩は忘れません!!

みかんだよ

私は孤独なんかじゃなかった！

この土地が大好きだ！

少しずつ、細野を支援する輪が広がっていく

そして2000年6月怒涛の選挙戦に突入する

私にとって大切なのは、相手候補に勝つことではありません!!

大きく開いてしまった政治家と国民のあいだの溝を埋めることです!!

私がやりたいのは、この国を守るための安全保障と、

皆さんのお孫さんたちの未来を守るための社会保障の充実です!!

パチパチ
パチパチ
地元のためにも全力を尽くします!!
伊豆の未来を私に託してください!!
そして奇跡は起きた!!
バンザーイッ
当確
細野 豪志
28歳の若き衆議院議員が誕生した!!
ヤッヤーッ!!
豪志スピリット
落下傘候補だった私は、選挙区を歩く中で地名を覚え、
人と触れ合って地域への思い入れを強くしていった
ゼロから支えてくれた人たちのためにも
私には泥をすすってでも政治家として結果を出す責任がある!